

育友会定期総会 議案を書面表決

集開催を行わず、書面表決となった。

「令和元年度事業報告及び収支決算報告」「令和2年度事業計画及び収支予算」「令和2年度育友会長、副会長及び監査役の選出」の三つの議案が承認され、新会長に新澤千佳子さんが選出された。

育友会 新会長 新澤 千佳子さん



神田10号館前

前向きに逆境を克服

「育友会の魅力は、活動に参加することで多くのお会いや気づきを得られること。会員同士や経費に振り替えることなどを経験豊かな教職員との交流を通じて、高校生までとは異なる子どもとの上手なコミュニケーションの取り方やサポートの仕方

などを知ることができ加。学生の創造的な取り組みを表彰する育友会奨励賞の選考委員も3年間務め、学生の等身大の姿と熱い思いにも触れた。大学と家庭をつなぐ役割を果たす育友会だが、

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で就職活動やキャンパス見学会は延期。育友会最大のイベントである夏の支部懇談会の中止も決めた。コロナ禍の先行きが

「育友会では、校友会とともに購買会からオンラインで注文した教科書の送料及び代引き手数料を負担することで学生を支援。今後は6月から配信が始まったメールマガジンなどを通じてきめ細かな情報提供を行い、ご父母・保護者の不安払拭に努める。

現在も保育士として、また学校・地域団体の役員として子育て支援や社会貢献活動に尽力する新澤さん。「おかげで視野が広がり、考え方も柔軟になった」と微笑む。自身の経験を踏まえ専大生にも「大学4年間を有効活用し、多くのことにチャレンジしてほしい。さまざまな場面で自らが求められる今、『できる』ことも多いと思うが、そうしたなかでも『できる』ことを見つけて行動を起こす前向きな



イースト川対岸から望むマンハッタン島の街並みと筆者ら＝後列右から3人目、2017年3月3日見学ツアーで



— 84 —

是永 隆文 経営学部准教授

皆さんこんにちは。今回は私が2016年度の在外研究でニューヨークのコロナピア大学に滞在し、語学や多様性理解の重要性を痛感した体験についてお話ししたいと思います。私の所属は同大学経営大学院の日本経済経営研究所で、当時は

第一の体験は、渡米して早々に50代のメキシコ人と20代のイタリア人とのルームシェアを1カ月送ることになったことです。その経緯やドタバタを話すと長くなりますが、結局、エスニシティ間の違いよりも(最初はそう感じたとしても)個人の嗜好や社会階層の

知の発信

法学部准教授 大西 楠 テア



「科研費採択研究から」

世界的なトレンドとして、労働市場の戦略的な開放が進み、労働力の国際移動が拡大しています。日本では2014年に高度人材を、16年には介護人材を受け入れるための入管法改正が行われ、18年の法改正では新たな留資格「特定技能」が設けられました。本研究では、ドイツ法を参照することで、外国人労働力受け入れをよりよく行うための法制度の可能性を探ります。

ドイツでも18年末に外国人受け入れのための新立法が行われましたが、日独に共通するのは、少子高齢化による深刻な人手不足の中で、外国人材を活用しようとしている点です。ドイツでは入国から社会への統合までが一連のプロセスとして捉えられて、外国人が職場や地域社会によりよく溶け込むための立法が行われています。日本国内で働いている外国人は166万人(19年10月)。

外国人労働力受け入れの法理論

「公共」の教科書づくりに携わりました。社会を規律している大事な要素の一つが法律です。法律を学び、社会の中で主体的に活動できる人になってほしい。数年後、「公共」を学んだ学生と会えることを楽しみにしています。

「公共」の教科書づくりに携わりました。社会を規律している大事な要素の一つが法律です。法律を学び、社会の中で主体的に活動できる人になってほしい。数年後、「公共」を学んだ学生と会えることを楽しみにしています。

「新・知のツールボックス」が電子書籍化

「新・知のツールボックス」が電子書籍化され、問題があることに気づき、自ら問いを立てること、そして、調べ、考え、議論して、自己の考えを整理して表現できるようになることが大学で求められる、そのための学びとして、ノートの取

育友会とは

専修大学育友会は、本学一部(昼間部)に在学する学生のご父母・保護者約1万6700人を会員とする組織。「ご父母

姿勢が大事。逆境を乗り越えた経験は社会に出てからもきつと役立つ」とエールを送る。

計 報

加藤忠彦氏(かとう・ただひこ) 名誉教授・元法学部教授



MIZUHO 信託銀行 One MIZUHO

信託をより身近に、明日をより豊かに。

資産運用・管理、不動産、相続・遺言など、ご資産に関するさまざまな問題にみずほ信託銀行は長年にわたり培ったノウハウを活かし、お客さまお一人おひとりのニーズに即したソリューションをご提供いたします。

One MIZUHO